

## 令和6年度 学校自己評価（中間報告）

基本方針 安全・安心で生徒職員ともに元気な学校づくり

SDGsの理念を踏まえて、生徒の長所を引き出し地域社会に貢献する学校づくり

重点目標	具体的目標
<p>1 基本的な生活習慣を確立させるとともに、粘り強い指導で規範意識の醸成を図る。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み、基礎基本の学力定着を図る。</p> <p>3 社会の担い手となるために、キャリア教育の一層の充実を図る。</p> <p>4 部活動や地域活動などへの積極的な参加を促すとともに、外部人材の活用や地域貢献を図りながら、本校の取組を中学校や地域に積極的に発信する。</p> <p>5 教職員間のコミュニケーションや連携を図り、多忙化解消や不祥事防止に努める。</p>	<p>(1) 生活指導 規範意識の醸成、明るく元気な集団の育成、厳しくも暖かく粘り強く ①基本的な生活習慣の確立      ②元気なあいさつ・返事 ③ルールの遵守、マナーの向上、TPOに応じた行動の確立、丁寧な言葉遣い ④身だしなみ指導の徹底 ⑤保護者との早めの連携 ⑥生徒の動向、多様化する生徒への対応の充実</p> <p>(2) 学習指導 基礎基本を徹底し、自ら学び、自ら高める態度を育成する ①授業規律の徹底      ②授業力の向上、授業改善      ③家庭学習の定着 ④「総合的な探究の時間」の指導プロセスの明確化とプログラム化 ⑤スクールエンジンの運用の充実</p> <p>(3) 進路指導 自分の持ち味を知り、夢を実現するための努力をさせる ①3年間を見通したキャリア教育の推進 ②「社会の担い手となること」を基本とした就職指導の充実 ③進学指導の充実と大学入試改革の研究</p> <p>(4) 部活動・特別活動・地域貢献活動 心と身体の鍛錬、成就感と達成感を体感 ①生徒の実態や活動状況を踏まえた部活動の整理や予算の見直しによる部活動の充実 ②生徒自ら参加する意識づくりと感動ある行事づくり ③生徒自らの企画運営による生徒会活動、委員会活動の充実 ④ボランティア活動等の地域連携・地域貢献の推進</p> <p>(5) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止 ①職員の和による強固な協力体制 ②タイムリーな報告・連絡・相談による情報の共有化と業務の効率化 ③在校時間の縮減、ストレス解消、余暇時間の確保と活用による健康管理 ④日々の意識と声かけによる不祥事の防止</p> <p>(6) その他 ①清掃場所や清掃方法の工夫による環境美化 ②積極的な情報発信（ホームページ、インスタグラムのタイムリーな更新）や地域への広報 ③様々な場面を利用した知多半島内の中学や地域との連携の推進 ④同窓会との連携 ⑤自分の学校という思いを持ち、生徒募集回復のための知恵を出し合う</p>

担当	重点目標	具体的方策	これまでの取組と評価、今後の課題
総務	①PTA活動をより充実、活性化させる。	PTA活動の様子を保護者に向けて積極的に発信する。	・PTA活動のお知らせを発信してはいるが、活動の活性化には至っていない。役員・委員以外にも行事に参加していただけるよう、工夫する。
	②内海高校の魅力を高め、発信する。	きめ細やかな情報発信をしていく。	・インスタグラムでの発信は、タイムリーに行えている。ホームページに掲載する情報と、インスタグラムでの内容を適切に分類し、今後も情報発信を継続する。
教務	①落ち着いた学習環境を作り、基礎基本の定着を図る。	・授業規律の確保に努め、生徒が落ち着いて授業に向かう環境を作る。 ・生徒の学習意欲を喚起する内容の授業や課題を設定する。	・授業中の私語や居眠り、忘れ物など授業規律に反する事項があった場合は教科担当が記録し、違反の数に応じて指導を行っており、全体としては概ね落ち着いた環境となっている。同じ違反を何度も繰り返す生徒に対しては、情報を職員で共有し、継続的・段階的に指導を行っていく。
	②新しい教育課程に対応した教育活動の円滑な実施を図る。	・観点別評価の円滑な実施のためのシステムをつくる。 ・校務支援システムを有効的に活用し、出欠・成績の管理を行う。	・今年度より、全学年で観点別評価となった。観点別に点数を入力するだけで合計の評点や観点別評価（A、B、C）が自動で計算できるようなシステム運用の変更を行ったが、再試験該当者等の把握が困難となり、今後の課題である。また、連絡なしで欠席する生徒が例年より多いため、欠席等の連絡方法を考察しなければならないと感じる。
生徒指導	①基本的な生活習慣の確立を図る。	欠席・遅刻を減少させる。授業に集中できるよう体調管理を意識させる。	・欠席・遅刻は一部の生徒に偏っているため、個別に指導や支援をしている。多くの生徒は体調管理ができ、よい学校生活が送れていると考える。
	②ルール・マナーの向上を図る。	ルール・マナーを遵守し、TPOに応じた行動ができるよう促す。	・今年度は生徒会活動により夏季の登下校についてポロシャツ登校を可とした。こうした活動が自分たちの校則として校則を守る意識付けになっている。
	③学校行事、部活動、地域貢献活動の活性化と充実を図る。	生徒が充実感・達成感を得られる工夫をする。	・生徒会やクラス役員を中心に、生徒が主体的な学校行事となるように常にアップデートし活動を支援している。
		部活動への参加率向上を目指し、やめさせない工夫をする。	・参加率向上のため兼部も推奨してきたが、どの部でも活動できていない中途半端な所属をしている生徒が増加してきた。
④安心安全な学校生活を推進する。	いじめを防止するため、組織的に対応する。	・学年会で生徒情報を常にしっかり確認している。また、いじめ・不登校対策委員会を設け、学校全体で生徒の状況を把握している。保護者へはメール配信を使用してパンフレットが渡るようにしている。今のところ学校全体で組織的対応ができています。	
	多様化する生徒への対応を推進する。	・生徒の多様性に対応するように、学年会だけでなく教育相談委員会等でも話し合えるようにしている。今のところ学校全体で組織的対応ができています。	

担当	重点目標	具体的方策	これまでの取組と評価、今後の課題
進路指導	①進学指導・就職指導を充実させる。	進学・就職両面において、生徒の基礎学力の向上の工夫と教員間の情報の共有化を図り、適切な指導ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学指導として、希望する学校への合格を目標に補習や対策講座を実施した。また、補習と外部の模擬試験を連携させ、学習をすれば成果が出るということに重点を置き、基礎学力の向上を図った。</li> <li>就職指導として、教員間で事業所に関する情報共有を図り、生徒の受験先の決定と合格への指導を行った。また、3年生全員に対してST後のテストや週末課題を課し、基礎学力の向上を図り、一定の成果をあげた。</li> </ul>
	②低学年から進路意識を持たせる。	進路行事を積極的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ、大学や企業の説明会などへの積極的な参加を促し、低学年からの進路意識の醸成を図った。インターンシップには1・2年生から46名の生徒が参加した。</li> <li>昨年度に引き続き、2年生を対象に進学希望者には進学に向けて、就職希望者には就職についての理解を深めるための講座を実施し、進路を決定するために必要な情報提供の時間を増やした。</li> </ul>
保健厚生	①ボランティア活動の継続と充実を図る。	ボランティア活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の清掃活動と大地の丘ボランティアは計画通りに行っている。大地の丘ボランティアの引率を教員で持ち回りにすることによって、保健厚生部の負担軽減と、保健厚生部以外の先生方に大地の丘ボランティアを経験していただくことができた。</li> </ul>
	②生徒委員会活動の充実を図る。	美化委員会の活動で生活環境に対する意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃道具の点検と保健厚生部倉庫の清掃を行った。今年度中にトイレの清掃道具の点検を行う予定である。</li> <li>花壇の整備は例年通り行えており、気持ちの良い学校環境が作られている。</li> </ul>
		保健委員会の活動で自らの身体や、健康情報に関心をもたせるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月より保健だよりを保健委員が作成している。生徒の目線で作成することで、健康課題をより身近に感じてほしい。しかし、保健委員自身が課題をとらえきれていないため、関心をもてるよう工夫したい。</li> </ul>
	③相談活動の充実を図る。	スクールカウンセラーと連携し、相談活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセラー、学年、担任、養護教諭、相談担当と連携が良く取れている。必要とする生徒にカウンセリング受ける機会を提供できている。</li> <li>カウンセラーだよりを毎月発行していただいている。</li> </ul>
担当	重点目標	具体的方策	これまでの取組と評価、今後の課題
1年	①規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立を図る。	ルール・マナーを守らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境を整えるために、HRの連絡や学年集会、掲示物等を通して、授業規律の理解と徹底を図ることはできている。</li> <li>集団を意識できるような声かけを生徒に行うことで、ルールとマナーの周知徹底を図ることができている。</li> </ul>

1 年		生活リズムを整えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不規則な生活習慣で体調を崩す生徒が多くいる現状のため、機会を見つけては生活リズムを整える大切さを伝えていった。</li> <li>・生活リズムを整える大切さを今後も伝えていき、心身の健康につなげさせていく。</li> </ul>
	②学習習慣の充実を推進する。	提出物・課題の提出期限を守らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の時に授業に参加できず提出物や課題を取り組んでこなかった生徒や、提出物を出さずに過ごしてきた生徒が多いなか、クラス担任や教科担任の声掛けと生徒が中学校の自分から変わろうとする気持ちから、提出期限を守るという意欲の向上が見られた。</li> <li>・学年全員が常に期限を守るまでには至らなかったため、今後も期限を守ることの大切さを伝え続けていく。</li> </ul>
2 年	①進路実現を意識した行動を推進する。	自己理解、他者理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や総合的な探究の時間等を利用して振り返りをさせる機会を増やし、自己理解と他者理解を深めさせた。今後もより一層自己理解を深めさせ、それぞれの進路決定につなげさせたい。</li> </ul>
		規範意識の高揚、皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比べ、学年全員の欠席数の総数は大幅に減少している。しかし皆勤の人数は昨年度12人で、今年度は9月終了時点で14人と同水準となっている。体調管理の徹底が課題である。</li> </ul>
	②コミュニケーション能力の育成を図る。	TPOに応じた言葉遣いを意識付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に比べ、場面に応じた行動を心掛けている生徒が多くなった。しかしこれまでの悪い癖が出てしまう場面も見られたので、今後は良い癖をつける習慣を身につけさせていきたい。</li> </ul>
3 年	①進路の実現を図る。	基礎基本を大切にし、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律の確保に努め、落ち着いた学習環境の中で、集中して話を聞く姿勢を確立できた。</li> <li>・進路目標に関わらず、多くの授業で前向きに取り組んでいる。進路決定後のゆるみを注視する。</li> </ul>
		進路意識を高めさせ、進路指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習、帰りの学習を通じて一般教養に取り組むなど、進路意識が向上している。</li> <li>・夏季対策講座を実施し、生徒も前向きに取り組み、充実した指導が行えた。</li> </ul>
	②信頼される社会人として必要な能力や習慣の育成を図る。	皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路目標と皆勤を結び付けての指導が効果を出している。決定後の声掛けに注意したい。</li> </ul>
		身だしなみルールの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路目標と身だしなみ、規範意識を結び付けての指導が効果を出している。決定後の声掛けに注意したい。</li> </ul>
		コミュニケーション能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、行事を通してコミュニケーション能力の育成を図っているが、効果は感じられない。就職試験の面接等を通して、さまざまな経験をさせていきたい。</li> </ul>